



北海道大学サステナビリティ・ウィーク

市民公開シンポジウム「都市でも農的生活ー植物の面白さと豊かな生活」 の開催について

開催概要：

植物のもつ面白さを学び、都市圏での農的生活の事例やあり方について意見交換します。

開催趣旨：

日常的に「競争」を感じる現代社会において、植物栽培や家庭菜園は生活に潤いを与え、都市圏でも農的生活の志向は増大しています。植物のもつ面白さ（コンパニオンプランツ^{※1} やアレロパシー^{※2}等）を学び、都市圏での農的生活の事例やあり方について意見交換します。

※1 コンパニオンプランツ：相性のよい関係にある植物のことで、例えばスイカ畑にネギを植えるとスイカに発生する蔓割れ病^{つる}が低減することが知られている。

※2 アレロパシー：植物が出す化学物質によって他の植物の成長が制御される現象で、この作用によりマメ科・ムクナ（ハッシュウマメ）の近くには雑草が生えなくなる。

日程：2014年10月31日（金） 13:00～16:00（受付開始 12:00）

場所：北海道大学学術交流会館小講堂（札幌市北区北 8 西 5） ※札幌駅北口より徒歩 10 分

共催：北海道大学北方生物圏フィールド科学センター、北海道園芸研究談話会

参加対象・募集人数：一般市民・100 人（事前申込み不要）

参加費：無料

プログラム：

「植物同士で成長を制御するしくみ：アレロパシー」東京農工大学農学部 教授 藤井義晴

「中国上海市における農的テーマパーク」中国江西省花野菜研究所 助教 ザン・ユーピン

「サッポロさとらんどにおける農的生活の支援活動」

さとみらいプロジェクトグループ 副施設長 奥山 誠

「定年後にめざす農業活動」さっぽろ農学校 主任講師 吉岡宏直

お問い合わせ先

所属・職・氏名：北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 教授 荒木 肇（あらかき はじめ）

TEL：011-706-3645 FAX：011-706-3645 E-mail：araki@fsc.hokudai.ac.jp